

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00445)

事務事業名称 一般廃棄物処理管理事務			款 06	項 01	目 03	事業 001	整理番号 473			
現担当課名 ごみ減量対策課		係名 管理係		連絡先電話番号 3723		昨年度整理番号 465				
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成12年度		実行計画事業 目標 03 施策 10		計画事業 01						
平成29年度担当課名 ごみ減量対策課						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象		家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者		根拠法令等 (1) (2)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	一般廃棄物処理業者許可(新規・更新)件数 収集車両台数(両所の1日平均)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 一般廃棄物処理業者への助言・指導を行う。 在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対する薬剤師会へ補助(事業費の1/2)を行う。 「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	事業系一般廃棄物(普通ごみ)搬入量(持込ごみ量) 指定処理施設(清掃工場等)への事業系一般廃棄物総搬入量(速報値) 一般廃棄物の処理施設搬入量 指定処理施設(清掃工場等)への家庭廃棄物総搬入量(可燃・不燃・粗大)(速報値)				
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	平成29年度 計画 (目標値)	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	148	121	116	154	148	118	96.1	
	活動指標(2)	2 台	118	118	118	113	113	79	100.0	
	成果指標(1)	3 t	25,034	24,709	25,533	25,482	25,076	25,407	98.4	
	成果指標(2)	4 t	73,794	68,978	71,097	73,484	71,627	74,181	97.5	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	5,185	1,924	1,689	2,727	1,735	2,684	平成29年度 予算執行率(%) 63.6	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 受益者負担分は、一般廃棄物処理業許可の 手数料収入です。 予算執行率90%未満の 理由は、一般廃棄物 処理基本計画の改定冊 子を作成することがで きなかったためです。	
	(内)委託費	7 千円	3,671	130	105	130	93	195		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.69	1.65	1.56	1.90	2.16		1.90
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.60	0.60	0.90	0.40	0.25		0.20
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,782	14,433	13,357	16,268	18,557		16,323
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	1,761	1,761	2,674	1,188	736		589
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	21,728	18,118	17,720	20,183	21,028	19,596		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	146,811	149,736	152,759	131,058	142,081	166,068		
	財源	受益者負担分	16 千円	1,498	1,231	1,180	1,561	1,481		1,201
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,498	1,231	1,180	1,561	1,481	1,201		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	20,230	16,887	16,540	18,622	19,547	18,395		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	6.9	6.8	6.7	7.7	7.0	6.1			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	473	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		廃棄物情報管理システム保守管理 全国都市清掃会議負担金の支出ほか 在宅医療廃棄物回収支援 その他(複合機保守点検委託ほか)		1	団体
(2) 事業実績	一般廃棄物収集運搬許可業者の立入検査を実施し、助言・指導を実施しました。 杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対して補助を行い、廃棄物の適正処理に努めました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から清掃事業が都から区へ移管されました。一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可事務は、平成17年度までは区への円滑移行を図るため、経過的に東京二十三区清掃協議会で事務を行い、平成18年度から平成24年度まで区が行いました。平成25年度からは東京二十三区清掃協議会による共同処理となりました。 平成15年度から杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物(使用済注射針)回収事業に対して補助を本格実施しました。平成28年度からは助成額を20万円から30万円に増額しました。 平成29年度は平成25年7月に策定した杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成25年度～平成33年度)の改定作業を行いました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。			
	今後(3～5年)の予測と方向性	平成30年度の杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定を受けて、ごみの減量等の目標数値の見直しと確実な達成を目指していきます。			
評価と課題	平成29年度も杉並区一般廃棄物処理基本計画の取組を着実に実施したことにより、数値目標に近づけることができました。 区収集ごみ量：目標：491g/人日、実績：470g/人日 資源回収率：目標：29.9%、実績：27.0% 平成30年度に改定する杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成25年7月策定)を受けて、今後も更なるごみの減量を目指した新たな減量手法を確立していきます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度予算の方向性の理由・内容	平成30年度に改定する杉並区一般廃棄物処理基本計画(平成25年7月策定)を受けて、ごみの減量等の数値目標の確実な達成を目指していきます。 一般廃棄物処理業等許可事務については東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となりましたが、区は必要に応じて立入検査や行政指導等を行うことで、事業所から排出されるごみの適正処理の徹底を図ります。 在宅医療廃棄物については適正処理のために、平成28年度に補助の助成額を10万円増額したものを継続し、事業の適正な運営に努めていきます。				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00446）

事務事業名称			ごみの減量と資源化の推進				款	06	項	01	目	03	事業	002	整理番号	474								
現担当課名			ごみ減量対策課		係名		事業計画係			連絡先電話番号		3725		昨年度整理番号		466								
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業					
事務事業の概要	事業開始		平成13年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		01		02		03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
	平成29年度担当課名		ごみ減量対策課		事業評価区分																一般			
	対象		区民・事業者・産業団体等				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律													
									(2)		循環型社会形成推進基本法													
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリユースや集団回収への取組みを進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。				活動指標		指標名（1）		啓発物（パンフレット、冊子）延べ配布部数													
								指標説明		平成28年度実績分より、チラシ枚数は除外した 集団回収実施団体数														
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		ごみの減量を推進するため、「ごみ・資源の収集カレンダー」をはじめとする各種啓発物の発行や小中学校への環境学習により、啓発活動を行う。 資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 資源化を推進するため、小型家電15品目を拠点回収し、希少金属を再資源化業者に引き渡す。				成果指標		指標名（1）		ごみ量削減率（対前年度比）														
								指標説明		平成29年度区収集ごみ量 ÷ 平成28年度区収集ごみ量														
								指標名（2）		資源回収率														
								指標説明		資源回収量 ÷ （区収集ごみ量 + 資源回収量）														
区分		単位		平成27年度		平成28年度			平成29年度		平成30年度		平成29年度											
				実績		計画	実績		計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)												
指標	活動指標（1）		1	枚	606,350	606,350	480,700	993,500	992,230	448,700	99.9													
	活動指標（2）		2	団体	457	469	468	487	482	505	99.0													
	成果指標（1）		3	%	99.3	98	97.8	98	100.1	98	102.1													
	成果指標（2）		4	%	28.4	29.1	28.1	30.0	27.8	31.2	92.7													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	79,735	91,924	83,032	98,358	87,922	82,084	平成29年度 予算執行率(%)		89.4											
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項													
	(内) 委託費		7	千円	17,145	21,466	20,780	25,677	25,208	19,992	予算執行率90%未満の理由は、ごみ・資源の収集カレンダー29年度下半期版の仕様変更（ページ数減）により経費残が生じたためです。													
	職員数	常勤職員数		8	人	7.47	6.80	6.68	7.05	6.61	4.60													
		再任用職員数		9	人	1.10	0.70	0.50	0.50	0.20	0.00													
		非常勤職員数		10	人	0.15	0.85	0.85	1.00	1.60	1.20													
	人件費	常勤職員分		11	千円	65,340	59,480	57,194	60,362	56,787	39,519													
		再任用職員分		12	千円	4,553	2,897	2,195	2,195	886	0													
		非常勤職員分		13	千円	440	2,495	2,525	2,971	4,710	3,533													
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	150,068	156,796	144,946	163,886	150,305	125,136														
	単位当たりコスト (14-6) ÷ 1)		15	円	247	259	302	165	151	279														
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0													
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0													
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0													
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0															
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0															
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	150,068	156,796	144,946	163,886	150,305	125,136															
受益者負担比率 (16 ÷ 14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0														

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	474
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		「ごみ・資源の収集カレンダー」の発行	844,100	部	13,173
		清掃情報紙「ごみパックン」「ごみパックン中学生版」の発行	127,200	部	2,512
		集団回収団体報奨金の支払い	482	団体	39,742
		その他(集団回収支援消耗品の購入ほか)			32,495
(2) 事業実績	<p>杉並清掃工場の稼働を機に、より効率的な収集を実施するため、平成29年10月から可燃ごみ・不燃ごみの収集開始時間、不燃ごみ・資源の収集曜日を一部地域で変更しました。そのため、10月以降も円滑に収集が行えるよう、「ごみ・資源の収集カレンダー」を上半期、下半期に分けて作成しました。また、清掃情報紙「ごみパックン」の発行、ごみ出しアプリを活用した適正な分別やごみ減量の普及啓発を継続して実施しました。集団回収については、団体募集のPRにより、活動団体数は増加している一方、図書や雑誌の電子化等により、回収量は減少しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に、「杉並区の清掃事業」、平成17年度から「ごみパックン」、平成18年度から小学4年生に「できることからはじめよう」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量等を周知しています。また、平成20年からごみ・資源の収集カレンダーを発行しています。平成25年度には、スマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」を開発、配信し、平成30年3月末現在、約36,000ダウンロードされています。平成28年度からは、小学校4～6年生を対象とした新たな事業も開始しました。また、集団回収団体数は、平成23年度以降増加し続けています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」「ごみパックン」の発行等、幅広く啓発を行っていることについて、区民のみならず好評を得ています。また、スマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」については、多言語化の拡充についてのご意見をいただいております。さらに、ごみの減量意識が浸透するにつれ、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)の削減について、事業拡充の期待が寄せられています。集団回収については、支援内容の充実を求められています。</p>			
	今後(3～5年)の予測と方向性	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」「ごみパックン」の発行等、ごみ減量の啓発活動を継続していきます。また、スマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人(マスター)」については、多言語化の拡充を進めてまいります。食品ロスの削減については、フードドライブ事業の常設窓口の設置等、食品ロス削減の取組を進めていきます。小型家電の回収は、回収品目と拠点回収場所の数を増やす検討をしていきます。また、粗大ごみや不燃ごみの中から再生利用可能なものの資源化を実施していきます。</p>			
評価と課題	<p>平成29年度の区民一人1日当たりのごみ排出量は、7年連続で23区最少となる470gとなりました。今後も区民が主体となって、ごみの減量に取り組んでもらえるよう、適正な分別、処理経費削減の必要性などについて、様々な機会を通じて周知を図ります。また、あわせて家庭でのごみ減量を推進するため、特に食品ロスの削減について、重点的に取り組んでいきます。集団回収事業については、全体の回収量は減少していますが、良質な資源を確保していくため、回収団体数の増加に向けた支援を継続して行っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、紙での周知媒体として好評を得ていますが、多額の費用を要することから、一方では毎年作成し、全戸配布する必要はないという意見もあります。変更した場合の区民生活に与える影響等に留意しながら、掲載内容や外国人への対応などについて、課題を整理した上で、今後の方向性を定めていきます。また、食品ロスの更なる削減に向けて、区民や事業者と協力しながらフードドライブを中心とした事業に精力的に取り組んでいきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00447）

事務事業名称			ごみ・し尿の収集・運搬				款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	475		
現担当課名			ごみ減量対策課				係名			事業計画係			連絡先電話番号	3725	昨年度整理番号	467		
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成12年度	実行計画事業				目標	03	施策	10	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成29年度担当課名	ごみ減量対策課										事業評価区分	一般					
	対象	区内一般家庭 事業者（排出日量50kg未満）					根拠法令等	(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
								(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。					活動指標	指標名（1）		ごみ（可燃、不燃、粗大）の収集量								
								指標説明		粗大ごみの収集点数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設に搬入する。粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬を委託により実施する。					成果指標	指標名（1）		区民一人1日当たりのごみ排出量									
							指標説明		（区が収集している年間の可燃ごみ量＋不燃ごみ量＋粗大ごみ量）÷人口÷365日									
							指標名（2）		1t当たりのごみ・し尿収集運搬コスト									
							指標説明		ごみ・し尿収集運搬コスト（事業費）÷区収集ごみ量									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度									
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）									
指標	活動指標（1）	1	t	98,828	98,536	96,630	96,945	96,703	95,657	99.8								
	活動指標（2）	2	点	506,649	500,000	507,782	500,000	502,768	500,000	100.6								
	成果指標（1）	3	g	490	490	474	490	470	460	95.9								
	成果指標（2）	4	円	16,613	17,064	17,005	15,614	14,566	17,367	93.3								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,641,839	1,681,422	1,643,145	1,513,717	1,408,553	1,661,266	平成29年度予算執行率（%）		93.1						
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	（内）委託費	7	千円	1,623,584	1,642,856	1,614,854	1,495,464	1,403,963	1,603,750	10%以上事業費減の理由は、予算自体が平成29年10月の杉並清掃工場稼働に伴う収集体制の見直し（車両台数減）により、10%以上減ったためです。当該事業は、平成30年度から別事業である「ごみ運搬の中継業務」を統合しました。								
	職員数	常勤職員数	8	人	166.21	153.70	160.98	144.55	139.92	133.80								
		再任用職員数	9	人	10.61	9.00	10.75	7.00	7.41	8.00								
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.30	0.00	1.00	1.20	0.90								
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,453,839	1,344,414	1,378,311	1,237,637	1,202,053	1,149,476								
		再任用職員分	12	千円	43,915	37,251	47,193	30,730	32,811	35,424								
		非常勤職員分	13	千円	0	881	0	2,971	3,533	2,650								
	総事業費	14	千円	3,139,593	3,063,968	3,068,649	2,785,055	2,646,950	2,848,816									
	単位当たりコスト	15	円	31,768	31,095	31,757	28,728	27,372	29,782									
	財源	受益者負担分	16	千円	329,767	347,441	328,158	383,733	350,558	418,792								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計		20	千円	329,767	347,441	328,158	383,733	350,558	418,792									
差引：一般財源		21	千円	2,809,826	2,716,527	2,740,491	2,401,322	2,296,392	2,430,024									
受益者負担比率	22	%	10.5	11.3	10.7	13.8	13.2	14.7										

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	475
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		収集・運搬車両借上(可燃・不燃)			
		粗大ごみの収集・運搬委託			305,929
		収集作業員の派遣委託			84,678
		し尿の収集・運搬委託	27	戸	15,889
		その他(賃借料・委託料・消耗品購入ほか)			86,565
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成29年10月から杉並清掃工場が稼働したことにより、それまで他区の工場に搬入していたごみが自区内搬入となり、車両台数が半減しました。あわせて、ごみの運搬距離が短縮されることから、収集体制を見直し、収集開始時間や曜日を変更するなど収集方法の効率化を図りました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	可燃ごみ量 平成12年度 108,401 t	平成29年度 90,268 t	対平成12年度比	約17%減
		不燃ごみ量 平成12年度 25,288 t	平成29年度 2,829 t	対平成12年度比	約89%減
		粗大ごみ量 平成12年度 4,919 t	平成29年度 3,606 t	対平成12年度比	約27%減
		総計 平成12年度 138,608 t	平成29年度 96,703 t	対平成12年度比	約30%減
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	集積所における回収漏れの問い合わせがありますが、悪天候の中での収集作業に対し、感謝の声も多く届いています。 一方で、集積所の管理は、特定の利用者に負担が大きく、ごみの出し方のマナーなどによるトラブルも発生していることから、戸別収集を希望する声が寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	区民一人1日当たりのごみ排出量は、家庭における分別の徹底、資源化の推進、適正排出のための取組等により、年々減少傾向にあります。 一方で、地域における関係の希薄性や共働き及び高齢者世帯の増加等により、集積所の分散要求が増え、集積所数は年々増加しています。 安定したごみ収集の継続とふれあい収集のような増加する区民ニーズに対応するため、更なる効率的な収集体制の確立に努めていきます。			
評価と課題		区民一人1日当たりのごみ排出量は、家庭における分別の徹底や資源化に対する区民意識の向上、適正排出のための取組等により、着実に減少しています。 今後もごみ量の更なる削減に取り組むとともに、ごみ量を適正に把握し、無駄のない収集体制を組むなど効率化を進めます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	杉並清掃工場の稼働により、ごみの運搬距離が短くなったことから、車両台数が約半数となりました。今後、収集コストの抑制を図りつつ、ごみ量のみならず、ごみ集積所数やふれあい収集の件数増加に対応するため、効率的な収集体制を確立していきます。 また、粗大ごみや不燃ごみの資源化の実施による、金属等の売払による歳入の確保や、資源の有効活用にも努めていきます。 なお、当該事業は、より効率的に事業を執行するため平成30年度から別事業である「ごみ運搬の中継業務」を統合しました。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00448）

事務事業名称			ごみ運搬の中継業務				款	06	項	01	目	03	事業	004	整理番号	476		
現担当課名			杉並清掃事務所		係名		管理係		連絡先電話番号			3323-4571		昨年度整理番号	468			
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成12年度	実行計画事業				目標	03	施策	10	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成29年度担当課名	杉並清掃事務所										事業評価区分	一般					
	対象	収集した粗大ごみ・不燃ごみ					根拠法令等	(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
								(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	中型車に積み替えることで運搬車両台数を減らし、運搬コストの節減と環境への負荷を軽減する。 ごみの減量と資源の有効活用を進める。 堀ノ内中継所を適切に管理運営し、効率的な搬入・搬出を行う。					活動指標	指標名（1）		粗大ごみ搬入台数								
							指標説明		堀ノ内中継所に粗大ごみを搬入した車両台数									
							指標名（2）		不燃ごみ搬入量									
							指標説明		堀ノ内中継所に搬入した不燃ごみ量									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	小型車で収集した粗大ごみ・不燃ごみを中型車へ積み替え、処理施設へ搬出する。 収集した不燃ごみの選別を行い、有用金属等の資源回収を行う。 堀ノ内中継所（民間施設）の管理運営を行う。					成果指標	指標名（1）		（粗大ごみ搬入台数） - （中継車両搬出数）									
							指標説明		減車台数									
							指標名（2）		粗大・不燃ごみ資源化量									
							指標説明		堀ノ内中継所で選別した資源量（再資源化施設に運ばれた金属分を含む粗大ごみと不燃ごみ金属分）									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度									
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）									
指標	活動指標（1）	1	台	11,683	11,700	11,644	11,700	11,631	0	99.4								
	活動指標（2）	2	t	2,379	2,860	2,284	3,414	2,923	0	85.6								
	成果指標（1）	3	台	9,268	9,026	9,220	9,075	9,203	0	101.4								
	成果指標（2）	4	t	1,309	1,410	1,208	1,440	1,375	0	95.5								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	222,678	233,209	229,290	262,480	248,649	0	平成29年度 予算執行率（%）	94.7							
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	（内）委託費	7	千円	193,526	203,994	200,158	230,491	216,736	0	平成26年度から不燃ごみの有用金属の選別回収を開始しました。（平成26年度は方南地域の1/3、平成27年度は方南全域及び本所地域の1/3、平成29年10月からは区内全域を対象としました。）また、この事業は平成30年度から別事業である「ごみ・し尿の収集・運搬」事業へ移行統合されました。								
	職員数	常勤職員数	8	人	1.40	1.30	1.47	1.50	1.50	0.00								
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								
	人件費	常勤職員分	11	千円	12,246	11,371	12,586	12,843	12,887	0								
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0								
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費	14	千円	234,924	244,580	241,876	275,323	261,536	0									
	単位当たりコスト	15	円	20,108	20,904	20,773	23,532	22,486	0									
	財源	受益者負担分	16	千円	49,899	55,446	45,048	55,311	46,553	0								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計		20	千円	49,899	55,446	45,048	55,311	46,553	0									
差引：一般財源		21	千円	185,025	189,134	196,828	220,012	214,983	0									
受益者負担比率	22	%	21.2	22.7	18.6	20.1	17.8	0.0										

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	476
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		粗大ごみ中継車両借上	2,428	台	102,630
		粗大ごみ中継業務委託			32,430
		不燃ごみ中継業務委託			81,676
		その他（堀ノ内中継所土地等賃貸借及び電気使用料）			31,913
(2) 事業実績	<p>小型ダンプ車で収集した粗大ごみは、堀ノ内中継所で中型プレス車に積み替えて運搬することにより運搬車両台数を約1/5に削減し、輸送コストの削減と環境への負荷を軽減しています。</p> <p>粗大ごみの収集車両延べ11,631台で収集した粗大ごみは、中型プレス車1,960台で破碎処理施設へ運搬したほか、金属分を多く含むパイプ椅子や自転車等は中型プレス車468台で再資源化処理施設へ運搬し売却しました。また、不燃ごみについては、堀ノ内中継所で資源化可能な鍋やフライパン等の金属分を多く含むものを選別売却し、資源を有効活用しています。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成13年4月に家電リサイクル法が施行され、粗大ごみから家電機器4品目（エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機）がリサイクルの対象となり、平成21年4月には新たに2品目（衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ）が追加されました。平成24年1月から新たな粗大ごみ受付システムを稼働しました。</p> <p>また、ごみの減量と資源の再利用を進めるため、平成25年度から粗大ごみの有用金属の選別を、平成26年度から不燃ごみの有用金属の選別を行い、それぞれ事業者へ売却しているほか、スプレー缶等危険物の除去（適正処理ののち再資源化）や蛍光灯等の水銀含有物の処分委託を行っています。</p> <p>平成26年度に1kgあたり20円台だった有用金属の売却単価は、平成29年度中は一時11円台になりましたが、おおむね15円台から16円台で推移しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>「粗大ごみ等から有用金属を選別し、資源の有効活用やごみの減量を進めてほしい。」との意見が引き続き寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>不燃ごみからの有用金属の選別回収は、平成26年度開始当初、区内の一部の地域において収集した不燃ごみを対象に行っていましたが、その後段階的に拡大し、平成29年10月からは区内全域で収集した不燃ごみについて選別回収を行っています。その結果不燃ごみの減量につながります。また、有用金属の売却により、歳入増につながります。</p>			
評価と課題	<p>中継業務は、運搬コストの削減と車両走行距離を短くすることによる環境への負荷軽減を主目的として開始しましたが、現在では、ごみの減量につながる不燃ごみの資源化を進めるためにも有効な事業となっています。</p> <p>不燃ごみの資源化の取組は、中央防波堤外側埋立処分場及び新海面処分場の延命化のためにも重要な取組であることから、今後もごみの再資源化を着実に進めるとともに、ごみを適切に排出してもらうための働きかけを継続し、引き続き区民の理解と協力を求めていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年10月から区内全域で収集した不燃ごみについて有用金属の選別回収を行っていることから、選別を行うための不燃ごみの搬入量が増加し、事業費は増加傾向にあります。</p> <p>ごみの資源化を進めることはごみの減量につながるため、今後も資源化の取組を推進していきますが、委託経費は適宜見直しを行い、より安全で効率的な堀ノ内中継所の運営を行います。</p> <p>なお、この事業は、より効率的に事業を執行するため平成30年度から別事業である「ごみ・し尿の収集・運搬」事業に移行統合されました。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00449)

事務事業名称		資源の回収			款	06	項	01	目	03	事業	005	整理番号	477
現担当課名		ごみ減量対策課			係名			資源対策係			連絡先電話番号	3317-6771	昨年度整理番号	469
上位施策No・施策名										10 ごみの減量と資源化の推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成11年度												
	平成29年度担当課名	杉並清掃事務所									事業評価区分	一般		
	対象	資源の排出者			根拠法令等	(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
						(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。			活動指標	指標名(1)		資源回収量(行政回収分)						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ごみ・資源の集積所に排出された資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)を回収し、中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化施設に引き渡し、再商品化する。			成果指標	指標名(1)		資源回収率(本事務事業では資源回収量に小型家電・金属の回収量は含みません。)							
					指標説明		資源回収量(行政回収分) ÷ 【区収集ごみ量 + 資源回収量(行政回収分)】							
					指標名(2)		資源の回収コスト							
					指標説明		資源回収コスト(事業費) ÷ 資源回収量(行政回収分)							
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	t	31,152	32,851	30,168	30,629	29,717	31,500	97.0				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3	%	24.0	25.3	23.8	24.2	23.5	24.0	97.1				
	成果指標(2)	4	円/t	72,773	69,985	75,274	77,032	77,196	73,528	100.2				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,267,031	2,299,082	2,270,872	2,316,407	2,294,022	2,316,126	平成29年度予算執行率(%)	99.0			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	2,251,153	2,284,443	2,256,613	2,301,713	2,281,226	2,301,432					
	職員数	常勤職員数	8	人	7.47	7.65	8.47	8.40	7.26	2.70				
		再任用職員数	9	人	0.60	0.30	0.50	0.50	0.80	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10				
	人件費	常勤職員分	11	千円	65,340	66,915	72,520	71,921	62,371	23,196				
		再任用職員分	12	千円	2,483	1,242	2,195	2,195	3,542	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	294				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	2,334,854	2,367,239	2,345,587	2,390,523	2,359,935	2,339,616					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	74,950	72,060	77,751	78,048	79,414	74,274					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	51,781	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	19	千円	270,450	0	0	0	0	0				
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	322,231	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,012,623	2,367,239	2,345,587	2,390,523	2,359,935	2,339,616					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 477			
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		古紙・びん・缶の回収業務委託			740,903
		ペットボトルの回収業務委託（中継、搬送業務含む）			359,310
		プラスチック製容器包装回収業務委託			561,662
		中間処理委託（回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する）			609,808
		その他（消耗品の購入 ほか）			22,339
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、中間処理施設まで運搬、当該施設で選別・圧縮等を行い再利用施設へ搬入して資源化を図りました。古紙の持ち去り対策では、「持ち去り厳禁」と記載した区専用新聞回収袋を区内施設（区民事務所等）に置き、区民に提供するとともに、早朝パトロールや早朝回収を行っています。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙の集積所回収を開始し、平成12年度の清掃事業の区へ移管以降は平成18年10月から雑紙を、平成20年4月からはペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめました。また、平成29年10月からは不燃ごみの選別、金属分の回収及び資源化を区内全域で開始するなど、着実に資源化が進んでいます。他方、区民からの集積所の分散要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなってきています。また、市況によって資源が高額で売却できるため、特に新聞等古紙の持ち去り行為が依然として行われています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	資源の分別に関する問い合わせが多く寄せられており、区民のごみ減量行動の実践や意識が浸透していることを窺い知ることができます。資源の持ち去り行為に対しては、禁止命令書の交付、氏名等公表にとどまらず、さらに厳しい対応を求める区民の要望もあります。また、区民からの目撃情報も寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	ごみの排出量は年々減少傾向にありますが、資源につきましては近年、新聞・雑誌のデジタル化による発行部数・ペットボトルの増加によるびん、缶の生産量が共に減少傾向にあることから、今後、資源化率を上げていくためには、区民の意識を深め、更なる分別の徹底が必要です。また、新たな資源分別回収品目の調査、検討を行い、一層の資源化の推進を図ります。			
	評価と課題	今後も安全で着実な資源回収を行っていくとともに、区民の理解と協力を得るために、分別に関する普及啓発を幅広く行い、より良質な資源の確保に努めていきます。資源の持ち去りに関しては、早朝パトロールや早朝回収の実施により、持ち去り行為者は減少傾向にありますが、今後も警察や関係機関と協力しながら粘り強く対応して、撲滅を目指します。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	幅広く区民に周知を図るため、「ごみ・資源の収集カレンダー」や区ホームページ、スマートフォンアプリ「なみすけのごみ出し達人」などの媒体を通して普及啓発を行い、良質な資源の確保に努めていきます。また、資源回収率を高めるために、再生利用が可能なものについて、更なる資源化を進める仕組みづくりを調査、検討していきます。資源持ち去り対策については撲滅を目指し、今後も早朝パトロールや早朝回収を継続実施し粘り強く対応していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00450)

事務事業名称			ごみ・資源の排出の適正管理				款	06	項	01	目	03	事業	006	整理番号	478				
現担当課名			杉並清掃事務所		係名		管理係		連絡先電話番号		3392-7281		昨年度整理番号		470					
上位施策No・施策名											10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業	
事業開始		平成12年度		実行計画事業		目標		03		施策		10		計画事業		03				
平成29年度担当課名		杉並清掃事務所											事業評価区分		一般					
対象		区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者				根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
								(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例										
事務事業の概要		事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		ふれあい指導件数										
		ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。 区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。				指標説明		指標名(2)		折り畳み式収集ボックスの配布数										
		活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標		指標名(1)		カラス被害のある集積所割合										
		事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。 ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。				指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												
						指標説明														
						成果指標		指標名(1)												
						指標説明		指標名(2)												

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	478	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		有料ごみ処理券印刷実績		1,659,800	枚	8,896
		動物死体処理委託		619	頭	1,673
		折り畳み式ボックス(1,245基)、カラスネット(1,121枚)の配布				26,363
		集積所看板等作成		30,000	枚	16,136
		その他（ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか）				28,252
(2) 事業実績	<p>集積所でのカラスによる被害防止を図るため、折り畳み式ごみ収集ボックスの設置と、カラスネットの配布を継続して行い、集積所の衛生保持を図るとともに、まちの環境美化に寄与しました。また、ごみの未分別など集積所管理に支障を及ぼす集積所については、担当による「ふれあい指導」により、ごみの正しい分け方・出し方の周知を行い、カラス対策同様に環境美化に寄与しました。また、事業用大規模建築物への立入指導も80件実施しました。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成20年度から、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などを、可燃ごみへ分別変更し、サーマルリサイクルを開始しました。また、プラスチック製容器包装、ペットボトルを新たな資源として回収を始め、古紙も分類に雑がみが加わるなど、資源化を進めごみの減量に努めています。相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かな収集サービスの提供などにより、ごみ・資源集積所の分散化が年々進む傾向にあります。平成29年10月にはごみ処理経費と受益者負担との見直しにより、ごみ処理手数料の改定を行いました。また、すべての集積所でイラスト活用した集積所看板と既存の看板との交換を、平成29年度に実施しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情が多数寄せられています。なかでも、戸別収集の実施への要望や、分別や出し方を守らない人への指導、外国人への分別方法等の周知を求める意見が多く寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>集積所の衛生保持・環境美化への住民意識の高まりから、ふれあい指導の重要性が増すことと、カラス対策など、ごみ・資源の排出の適正管理に対する要望は多様化すると予測されます。</p>				
評価と課題	<p>ごみの分別の徹底や資源化の推進により、区民一人1日当たりのごみ量は23区で7年連続して最少となっています。今後もより一層の分別の徹底に向け、若年層や単身世帯、地域の生活ルールに不慣れな外国人などへの分別方法の周知を図るため、イラストを活用したわかりやすい集積所看板の設置やごみ出しアプリの多言語化を図り、外国人居住者への理解の向上を図っています。また、未分別のごみ・資源については、住民理解向上のための周知を強化するほか、事業系ごみ・資源への有料シールの貼付率向上のための排出指導の強化も進めていきます。</p>					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが肝要です。今後も区民や事業者に対し、ごみの分別と資源化の徹底を働きかけていきます。また、区民による集積所管理の負担感が増しており、折り畳み式ごみ収集ボックスの配布を望む声の高まりにも表れています。そのため、今後も集積所管理をサポートできる体制の充実と、集積所美化の向上に取り組んでいきます。「ふれあい収集」時には、ごみが出ていない場合には声かけをするなどして、対象者の安否確認を積極的に行っていきます。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉分野と連携した区民サービスの向上に努めていきます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00453)

事務事業名称 清掃車の運行及び維持管理			款 06	項 01	目 04	事業 001	整理番号 481				
現担当課名 杉並清掃事務所		係名 管理係	連絡先電話番号 3392-7281		昨年度整理番号 473						
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成12年度									
	平成29年度担当課名	杉並清掃事務所						事業評価区分 施設維持管理			
	対象	区所有清掃車両(ごみ収集車、軽ダンプ車、連絡車)53台	根拠法令等 (1) (2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 道路運送車両法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	加害事故「0」の実現と継続 前年件数の半減を目標とし加害事故を根絶させる。 作業計画に基づいた直営清掃車両の搬入回数 計画数内の搬入を目標に効率的な運行を目指す。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	交通安全講習会等の開催回数 年間延直営清掃車走行距離数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	車両を安全・適切に運行するため整備する。 安全運転への意識を向上させ、連続無事故日数を更新する。 各種の講習会を実施し、安全運転技術のスキルアップを図る。	成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明								
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	回	24	24	24	24	24	100.0		
	活動指標(2)	2	km	291,902	276,687	242,407	271,267	235,557	243,000	86.8	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	28,132	36,236	27,215	32,996	25,402	28,166	平成29年度 予算執行率(%) 77.0	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の主な理由は、杉並清掃工場の建替えが完了し、試験稼働が当初の予定よりも早く開始され、清掃工場までの走行距離が短縮できたことにより、自動車用燃料費の使用量が計画を下回ったためです。	
	(内)委託費	7	千円	81	211	196	199	197	137		
	職員数	常勤職員数	8	人	29.14	26.00	27.94	26.00	25.66		23.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	1.02	1.00	1.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	254,888	227,422	239,222	222,612	220,445		197,593
		再任用職員分	12	千円	0	0	4,478	4,390	4,428		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	283,020	263,658	270,915	259,998	250,275	225,759		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	11,792,500	10,985,750	11,288,125	10,833,250	10,428,125	9,406,625		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	283,020	263,658	270,915	259,998	250,275	225,759		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	481	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		自動車用燃料		53	台	11,204
		車両点検整備		53	台	12,507
		維持管理経費（車両消耗品、保険料・公課費等）		53	台	1,691
		その他（ ）				
(2) 事業実績	車両点検整備の実施 3か月点検34台 6か月点検46台 12か月点検11台 架装点検136台 車検事前点検36台 各種研修・講習会の実施 交通安全講習会（8回） 安全運転特別講習会（2回） 運転実技講習（8回） 整備研修（2回）					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	これまで各種研修や講習会を実施し安全運転技術及び安全運転に対する意識の向上に努めているところですが、引き続き直管車両による交通事故の根絶に向けた取組強化が課題となります。区保有の清掃車両については、コストや年々減少しているごみ量などを考慮し、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00454)

事務事業名称		杉並清掃事務所の維持管理				款	06	項	01	目	04	事業	002	整理番号	482		
現担当課名		杉並清掃事務所		係名		管理係		連絡先電話番号		3392-7281		昨年度整理番号		474			
上位施策No・施策名										10		ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成12年度															
	平成29年度担当課名	杉並清掃事務所											事業評価区分	施設維持管理			
	対象	12,036.76㎡(本所-784.70㎡、下井草分室-602.96㎡、旧杉並中継所-6,311.73㎡、方南支所1875.64㎡、高円寺車庫2461.73㎡)				根拠法令等	(1)		杉並区公有財産管理規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	建物や設備等を適正に管理保全し、安全で機能的な執務環境を確保する。				活動指標	指標名(1)		電気使用量								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。				指標説明	杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所、旧中継所の電気使用量合計		施設等修繕契約件数								
					指標名(2)	杉並清掃事務所、分室、車庫、方南支所、旧中継所に係る施設及び設備機器修繕契約件数											
					成果指標	指標名(1)											
					指標説明												
					指標名(2)												
					指標説明												
区分	単位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度								
		実績	計画	実績	計画	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	kwh	873,409	855,490	661,177	761,000	653,684	748,200	85.9							
	活動指標(2)	2	件	49	50	52	50	56	50	112.0							
	成果指標(1)	3															
	成果指標(2)	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	106,335	114,677	102,757	173,675	120,206	140,592	平成29年度予算執行率(%)	69.2						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	46,838	50,614	48,745	101,802	56,682	76,761	執行残の理由は、杉並清掃事務所の耐震補強工事を予定していましたが、入札の不調により契約締結に至らなかったためです。							
	職員数	常勤職員数	8	人	4.88	4.75	4.87	4.50	8.60	8.20							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	0.20	0.88							
	人件費	常勤職員分	11	千円	42,685	41,548	41,697	38,529	73,883	70,446							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	2,935	2,935	2,971	2,971	589	2,591							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	151,955	159,160	147,425	215,175	194,678	213,629								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	174	186	223	283	298	286								
	財源	受益者負担分	16	千円	9,167	11,075	7,900	10,051	8,440	9,631							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	9,167	11,075	7,900	10,051	8,440	9,631								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	142,788	148,085	139,525	205,124	186,238	203,998								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	6.0	7.0	5.4	4.7	4.3	4.5								

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	482
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		保守管理委託			24,329
		光熱水費			36,550
		維持管理経費			6,690
		施設等整備費			9,989
		その他（杉並清掃事務所耐震補強その他工事ほか）			42,648
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>本所）、下井草分室、方南支所については、老朽化が進んでおり、各種保守点検に加え、計画的な整備・修繕が必要であり、限られたコストの中で、適切な施設管理に努めました。</p> <p>また、杉並清掃事務所耐震補強その他工事においては、平成29年度の入札不調により、平成30年度に施工となりました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題		<p>各清掃施設の老朽化に伴い、機器設備の不具合や緊急的な修繕などが顕著になっています。とりわけ杉並清掃事務所は築50年を超過し老朽化のみならず耐震性にも課題があることから、災害発生時に機能が停止しないよう、平成29年度に耐震補強工事を予定し、契約が不調となり平成30年度に施工となりました。</p> <p>なお、旧杉並中継所は清掃事業以外の用途にも活用できるようになる平成32年度までに、将来を見据えた有効な活用策を検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
今後の進め方					